

審査対象①：【A】～【E】筆頭著者論文

- 【A】査読付き論文誌掲載論文（英語）（25点／件を付与する）
- 【B】査読付き論文誌掲載論文（日本語）（20点／件を付与する）
- 【C】査読付き国際会議の会議録掲載論文（会議録に論文が掲載されたアブストラクトも可）（10点／件を付与する）
- 【D】その他（英語）（国内会議論文、研究会論文、全国大会論文、ポスター発表等）（5点／件を付与する）（【D】【E】あわせて6件までを評価対象とする）
- 【E】その他（日本語）（国内会議論文、研究会論文、全国大会論文、ポスター発表等）（3点／件を付与する）（【D】【E】あわせて6件までを評価対象とする）

（留意点）

- ・論文誌や会議録に掲載済の論文は別刷を添付する。
- ・査読付きの場合はそれがわかる資料を添付する。
- ・掲載決定で印刷予定の場合はそれが分かる資料を添付する。
- ・発表で論文がない場合は会議が開催されたことを示す資料と本人が発表したことがわかる資料（会議プログラムなど）を添付する。
- ・指導教員が共著者に含まれていること。
- ・添付資料には申請書と同じ業績番号（例：「A①」、「C②」）およびページを付番する。
- ・論文誌や会議の難易度を考慮して付与するポイントを変更することがある。
- ・筆頭著者であることが不明な論文はカウントしない。
- ・本学部、学科、研究室が主共催する会議や研究集会の業績は原則カウントしない。
- ・添付資料に不備がある場合や内容に問題がある場合はカウントしない。
- ・【A】【B】【C】については、雑誌、会議のh5index（以下のURLによる）を申請書に記載する。
URL https://scholar.google.com/citations?view_op=top_venues&hl=en

審査対象②：【F】コンテスト等における受賞あるいは入賞などの賞歴 1点／件

（留意点）

- ・受賞名称、賞を与えた機関・組織名称、受賞年月日、申請者が受賞した事実がわかる論文誌等の記事のコピー、URL、あるいは賞状のコピーを添付する。
- ・4件までを評価対象とする。
- ・添付資料には申請書と同じ業績番号（例：「F①」）およびページを付番する。
- ・本学（あるいは関連組織）からの受賞はカウントしない。
- ・添付資料に不備がある場合や内容に問題がある場合はカウントしない。

以上2項目を審査対象とし、それぞれの留意点に上げる条件を満たすものを業績としてカウントする。
なお、虚偽の業績を申請した場合は、申請を却下する。

以下は業績としてカウントしない。

- ・海外留学
- ・海外・国内インターンシップ
- ・コンテスト（受賞した場合あるいは上位入賞した場合は申請可）
- ・フィールドワーク、学会等への参加歴
- ・技術資格

以上